



平成27年4月13日

各 位

会社名 松竹株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 迫本 淳一  
 (コード番号 9601 東証第一部、札証、福証)  
 問合せ先 取締役 関根 康  
 (TEL 03-5550-1699)

## 特別利益の計上及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成27年2月期単体決算におきまして特別利益を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月10日に公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の計上について

当社は平成21年2月期の単体決算におきまして、シネコン子会社に対して当時の業績及び見通しを勘案し、健全性の観点から1,640百万円の投資損失引当金を計上いたしました。その後、同社の業績が回復したため、当期におきまして1,640百万円の投資損失引当金戻入益を特別利益として計上するものであります。なお、これは単体決算上のものであり、連結決算では消去されるため、連結業績にあたる影響はありません。

#### 2. 平成27年2月期業績予想の修正について

##### 個別業績予想の修正

平成27年2月期通期の個別業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,590	2,960	1,750	12.66
今回修正予想(B)	53,880	3,930	3,570	25.83
増減額(B-A)	290	970	1,820	
増減率(%)	0.5	32.8	104.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期通期)	53,299	4,985	1,572	11.37

#### 3. 修正の理由

通期の個別業績予想につきましては、演劇事業においては新開場2年目の歌舞伎座が前年より引き続き活況を呈し、「十月大歌舞伎」、「十二月大歌舞伎」、「壽初春大歌舞伎」などが大きな収益を上げ、映像関連事業においては当社製作配給作品の「ホットロード」、「紙の月」が好成績を収めた事に伴い、営業利益、経常利益が予想を上回り、当期純利益におきましては「1.特別利益の計上について」に記載の通り特別利益の計上もあり、予想数値を大幅に上回ったため、修正いたします。なお、通期の連結業績予想につきましては概ね前回発表予想数値のとおり推移しております。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上